

第71回石川県へき地複式教育研究大会奥能登大会参観者の感想・ご意見

- 考動タイムは、子どもへの意識付けや思考する時間の確保に効果がある。学習リーダー（ファシリテーター）は、学びのマネジメント = 協働的な学び。一人ひとりの子どもを大切にする授業 = 授業者 + α の先生が主体性を引き出す。少人数での授業で多様な意見が出るためには、ICT の活用が有効。アウトプットの重要性は感じた。どの授業も最後にアウトプットしていた。本校では、複式授業解消の非常勤講師が配置されています。今日の授業は、2 学年を 1 つの教室で前後の黒板を使って行うという形式で、正直驚きました。先生と子どもの動きがあまりに円滑で、異学年の声に惑わされず考動出来ることに感動しました。安心して学べる場、つまり自分がいる状況を正直に伝え合うことが出来ているところがすばらしい。本校で一番取り入れたい。
- 研究発表、お疲れ様です。複式学級の授業は大変だろうと思います。本日の授業では、学習リーダー（児童）が中心となり、主体的に進んでいました。前に出て発表したり、説明したりしている姿は、まるで先生のようで、いつも取り組んでいるからこそその立派な姿だったと思います。他の児童も進んで友だちに教えたり、グループで話し合ったりする姿がすばらしかったです。良い面を中学校に入学してから、発揮してくれることを期待しています。ありがとうございました。
- どのクラスも落ち着いて学習に向かっていて、素敵だなと思いました。1・2年生を中心に参観させていただきました。1年生でも自分たちで、学習を進めることができることに驚きました。今年、1年生の担任をしていますが、こちらが主導で全てを進めてしまっています。それでも時間が足りず、バタバタした授業になっています。今日、参観させていただき、子ども達に委ねることの大切さを実感しました。委ねるためには、それまでの準備が大変だと思いますが、子ども達を育て、準備をしっかりすれば、ここまで出来るというところを今日見せていただいたので、明日から子ども達を信じて、任せる場面を増やしていくこうと思いました。そのための準備も行っていきたいです。本日はありがとうございました。お疲れ様でした。
- 加藤先生の言う「適度な不親切」が、散りばめられた素敵な授業でした。子ども達の育ちに力をもらいました。
- (公開授業、研究発表) どの学年の児童も本時の課題解決に向けて、一人ひとりが集中して自力解決に取り組む姿、学習リーダーを中心自分達で学び合う姿がとてもすばらしいと思いました。学習リーダーを見て、子どもの力をここまで引き出し伸ばせる貴校の研究の積み上げを感じるとともに、子どもの可能性に感動しました。本校も来年度から算数を複式授業で行うことになるので、大変勉強になりました。ありがとうございました。
(講演) お話の中で特に、教師の「ねらいに基づく適度な不親切」という言葉が心に残った。少人数だとどうしても教師は口を出し、手出しを一人一人の子にしてしまいがちだが、子どもにどんな力をつけたいのか学校として明確にして共通理解し、子どもに委ねることをしていく必要を感じた。

- ・本大会に参加し、「全員が」分かる「全員で」分かる授業づくりについて深く考える機会となりました。複式学級では、児童同士の関わりや学び合いが特に重要であり、考動タイムの充実が大切であると感じました。また、学習リーダーの存在が学級の学びを支えていると感じました。向洋小学校の規模や環境、課題等、自校と重なるところが多いので、今回学んだことを今後の取組みに生かしていこうと思います。本日は、ありがとうございました。
- ・1・2年生を中心に参観させていただきました。タイムマネジメントや既習掲示、2年生の身近な場面でのかけ算見つけでのICTの活用など、自分にとっての学びがたくさんありました。また、算数用語を意識したり、他の数字やアレイ図で説明したりするなど、分かりやすく表現する姿もたくさん見られました。自分も児童の学び合いを大切に、本日学んだことを職員に還元し、児童の力を付けていきたいです。多くの学びをありがとうございました。
- ・「全員が」分かる！「全員で」分かる！授業を見させていただきました。5・6年生の授業を参観しました。学習リーダーを中心でしたが、「全員で」分かろうとする姿がよく見られました。うさぎ1匹あたりの面積でもやもやしている子達が、自然発的に大型モニターを使って説明し合っていました。何が分かって何に納得いかないのか、子ども同士で伝え合い何とかしようとしていました。その後の全員での話し合いも、「全員で」分かろうとしていました。曖昧で終わらせないために、教師の出場として「このAにもキーワード作ろうよ。」「単位は何？」も大変有効でした。大変大きな学びを得ました。ありがとうございました。
- ・研究主題のめざす姿が、どの学級でも表れており感銘を受けました。全員で分かるようにするために、子ども達が寄り添って説明している姿が素敵でした。また、子ども達が「先生、先生」と呼びかける姿がなく、リーダーが中心となって友だち同士で解決している姿はとても感心いたしました。同時間接では、すばやく教師が見取り、的確な支援で学習を進めている点については、本校においても取り入れさせていただきたいと思います。小規模校のデメリットをメリットとして捉え、本日教えていただいた考動タイムの充実や、学習リーダーの育成に関する手立てを本校の教育活動に生かして参りたいと存じます。すばらしい研究発表大会、ありがとうございました。
- ・昨日は玄関に入った瞬間、出会った子が自分からはっきりとした声で挨拶をしてくれました。授業では、子ども達が自分のことでなく、他者も意識しながら学習に取り組んでいる姿が印象に残りました。学習リーダーはすごく頭を働かせていて、学びをつなげていました。このような力が育成されているのも、日々の実践の積み重ねがあってこそ！自校の取り組みの改善に向けたヒントをたくさんいただきました。ありがとうございました。
- ・5・6年生の授業を見させていただきました。子どもたちが自分たちで学びを進められる手立てや大事なところでの先生の出方がとても勉強になりました。学校に戻ってみなさんに紹介したいと思います。ありがとうございました。加藤先生のお話も大変勉強になりました。
- ・高学年の学習リーダー、そして子どもたちが育っているのは、低学年からの積み上げがあってのことであり、先生方が「適度な不親切」で鍛えてきた結果だと思います。本校も児童に委ねるこ

とに取り組んでいますが、向洋小の実践からまた新たなアプローチも展開できる視点をいたたいたと思いました。本日は本当にありがとうございました。

- ・本日はありがとうございました。主に、1～4年生の授業を参観させていただきました。本校は今年度、1・2年、3・4年の複式学級を、複式経験がない教諭が担任しています。4月からとにかく試行錯誤で授業づくりを行なってきました。単式の授業しかしたことがない2人なので、「渡り」の難しさを感じています。本校のB訪問の際、指導助言の中で「同時間接の時間を増やしていくとよい」という話がありました。今日の参観で、まさにその具体を見ることができ大変ありがたい学びとなりました。5・6年生の姿は、それまでの積み重ねの姿であり、学年に適した学習リーダーの在り方を知ることができました。

児童に委ねる時間がが多いからこそ、授業の準備の丁寧さ、児童が意欲をもって取り組めるような工夫が散りばめられていました。全学年での1時間の見通し、低学年の単元を通したワークシート、中学年での半具体物の準備など、ちょっとした手間を惜しまないことの大切さを改めて感じました。

中学年では、友達の発表を聞きながら学習リーダーが板書する姿、式に対し「この数字は何ですか?」と数字と文章題を一致させたりと、児童同士でもしっかり確認しあったり深めあつたりできる姿を見て、私ももっと児童に委ねて、児童同士対話しながら授業を進めていけるようにしていきたいと思いました。

機会がありましたら、11月のこの姿になるまでの過程はどうだったのか。1年生の入門期はどのような複式の授業だったのか、学習リーダーを育てていく中での指導や声かけなど教えていただければと思います。

本校は来年度、2・3年、4・5年の変則複式の予定です。算数だけでなく技能教科も複式授業を行なっております。授業づくりについてざっくばらんに学べる場があればと思う日々です。なかなか複式授業について学ぶ機会がない中、貴重な時間をありがとうございました。

- ・どのクラスも一生懸命に学びに向かう姿に感動しました。その姿は一朝一夕にできるものではなく、低→中→高としっかり積み上げられた結果なのだと思います。先生方の日頃のご指導の賜物ですね。本校でも参考にさせていただきたいと思います。

本日は本当に素敵な授業、研究発表をありがとうございました。

- ・低学年でも自分たちで勉強を進めている姿が素敵でした。また、学年によって先生方の出場が違ったり、児童の動きが違ったりと変化が見てよかったです。小学校6年間を見通して指導されていることが伝わってきました。自分の学校でも子どもたちの力を信じて任せる場面を増やしていきたいと思いました。

- ・子どもたちが、授業中「わからん、教えて」「途中でわからなくなったから、誰か続けてくれませんか?」など皆でわからうとする姿が印象的でした。日頃から鍛えられているのがよくわかりました。そして、そんな授業になるのも、先生方の授業研究と子ども理解があってからこそだと思います。

他の教科の授業や、向洋小で育った子どもたちが中学生になってどんなふうに成長するのかを見

てみたい、と思いました。

学習リーダーとの打ち合わせをどのように行っているのか、今後算数以外の授業でも考動タイムや学習リーダーの取組をどのように広げていくのか、などお聞きしたいことがたくさん出るくらい、勉強になりました。ありがとうございました！

・来年度から本校でも複式学級ができます。準備に向けて必要なもの、指導方法など参考になりました。特に学習リーダーの育成に関して、向洋小学校の児童の育ち方に驚かされました。どうすれば学習リーダーを中心に進められる学級・児童が育成できるのか気になりました。どの学級の授業もとても素晴らしい参考になりました。ありがとうございました。

・児童が自分で、自分たちで学習を進めている姿がすてきでした。委ねることと、教師の教材研究は比例すると改めて思い、先生方の努力の積み重ねが子どもの姿に現れているのだと感銘を受けました。講演では、小規模校であるが故のメリットを十分に生かすことや、どこをポイントにして自分の学校では目指していくのかを見極め、実践を粘り強く重ねることの大切さを教えていただきました。ありがとうございました。

余談ですが、帰途の暗くて工事中の箇所が多いのと里山海道は運転が大変でした。いつも奥能登の先生方は加賀地方にお越しの際、とてもご苦労されていることが実感できました。

・本日はありがとうございました。僻地複式学習でも特別支援学習のような見通しをもたせることの重要性を学ぶことができました。これまで、複式学級の子どもたちの学習に間断なく渡っていましたが、今回、同時間接指導の学び方は非常に参考になりました。9/24に正院小学校にきていただいたとき、一人で意見を広げるとき、キャラクターを使うということを参考にさせて実践してみました。すぐにその児童に溶け込み、その児童にない意見をその場で考え、そのキャラクターに言わせています。とてもいい手応えで授業ができます。

・今回初めて複式授業の教育研究大会に参加しました。5・6年生の授業を拝見させていただいたのですが、子供達が学習リーダーを中心に自主的に授業を進める姿にとても驚きました。自分たちで進めながらも、みんなが分かっているのかをその都度確認して進めていて、まさに研究目標に向かって取り組む姿だなと感じました。授業の板書を子供が主となって作っていて、周りにお客さんがたくさんいても物怖じせず友達と話し合う様子は普段から身についているからこそだと思いました。見通しを持って学習に取り組むこと、子供に委ねる箇所はしっかり委ねて、「適度な不親切」を目指して授業に励みたいと思います。今日はありがとうございました。

・複式の授業を初めて参観しました。子どもたちに任せるところと教員の出るところを日々の授業から考えていらっしゃっているからこそ、子どもたちのびのびと学んでいるのだろうなと思いました。ありがとうございました。

・公開授業の児童の姿から、向洋小学校が力を入れている2つのことが伝わってきました。特に学習リーダーがタイムキーパーをしたり、考えを引き出したり、つないだりする姿を見て、低学年からの積み上げの大切さ・大変さを感じました。

また、グループで話す際や発表する際の聴き方や反応の仕方がとても参考になりました。

児童だけで進めている様子を見て、それが出来るだけの準備や積み上げを先生方がされているのだと分かりました。安心して児童が進められるように、同じスタイルで流せるように教材研究をしたり、ホワイトボードに流れや指示を書いたりと、きめ細かな準備があつての児童の姿なのだと実感しました。

授業を見せていただき多くの気づきを得ることができました。児童の姿、教師の関わり方、大変勉強になりました。ありがとうございました。

・昨日はありがとうございました。5・6年生を参観させていただきました。ミニホワイトボードに提示された学習の見通しや学習リーダーの在り方は、自校でもぜひ取り入れていきたいと思いました。また、子どもたちに考えを書かせ、話させることを徹底すること、教師の出場のタイミングが大切であることも学ばせていただきました。自校の研究にもいかしたいと思います。先生方、これまでのご準備本当に疲れ様でした。ありがとうございました。

・全クラスで算数の複式授業だったため、授業スタイルの系統性を参観することができます。低学年であっても自分たちで授業を進めようとしている姿が見られ、これまでの積み重ねが感じられました。

授業を参観して、授業の流れの中でどのように教師の出場を設定するかについて難しさを感じました。児童に委ねつつも、タイムマネジメント的にゆっくり対話する時間がないと、どうしても教師が口をはさんでしまいがちです。私もこのことについて日々の授業で反省することばかりですが、本日の授業でも先生が言わなくても子ども達同士で質問し合えばヒントが見つかりそう！という場面がありました。委ねる時間の教師の出場について、もし先生方の中で共有していることがあれば教えていただきたいです。

今日までの準備、本当に疲れ様でした。ありがとうございました。

・全ての学級の授業を参観いたしました。印象に残っていることは、発達段階に応じて、児童が主体的に学んでいる姿です。低学年であっても、自分たちで学びを進めようとしている様子に驚きました。また、中・高学年は、先生方が教室の真ん中に立ち、各学年の学びを見取り、ここぞという場面で問い合わせや確認等を行っていました。しっかりとした教材研究や児童の見取り、それにに対する支援の準備等があったからだと思います。これまでの積み上げの賜物であると拝察します。大変参考になりました。

本校も、複式学級がありますが、複式解消講師が配置されており、図工や音楽、体育、家庭科以外は、単式で行っています。教師と児童の関係が良すぎることもあり、児童はどうしても教師を頼りますし、教師の指導も手厚くなりすぎる傾向にあり、子供主体の授業という点で本校の大きな課題となっています。本日の参観で得たことを先生方にお伝えし、授業改善に生かしていくたいと思います。

また、「向洋小学校の『分かる』とは」は、正にその通りだと思いました。本校でも共有したいと思います。

往復約290kmでしたが、参加させていただき大満足です。本当にありがとうございました。

- ・本日は、授業を観させていただき、ありがとうございました。5、6年生の松中先生の授業を観させていただきました。
児童が授業を進めている姿に感心し、また、必要に応じて、先生が関わっていく様子がとても参考になりました。お忙しい中でのご準備、本当に疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・日々お忙しい中、本当に疲れ様でした。子ども達全員が授業を作っている姿が大変よかったです。また、子ども達が子ども達の手で授業を創り上げるための細やかな手立てもたくさんありました。この手立てに関しては、複式学級でなくても生かせると思うので、私も是非チャレンジしたいと思います。また、授業を通して、子ども達と先生方との信頼関係を感じることができました。やはり、なんだかんだ言って、テクニックも大切だけど、信頼関係が全てだよなと個人的には思いました。
- ・向洋小学校の学校研究を拝見し、授業づくりにおける多くの学びを得ることができました。授業の中で、子供の考えをあいまいにせず、ねばり強く丁寧に確かめながら進めていく姿勢が一貫しており、「『全員が』わかる！『全員で』わかる！授業づくり」への本気度を感じました。ここぞという場面での教師の発問は的確で、ねらいに迫るための理由を問うことや、子供同士の考えをつなぎ合わせる働きかけが随所に見られ、論理的思考や表現の力を大切にする授業観が伝わってきました。さらに、考動タイムという、低学年から高学年まで一貫して「協働して学ぶ文化」が根づいていたことが印象的でした。わかっている子も、わからなかった子も、自分の考えを必ず伝える場が保障されていることで、子供たちは安心して学びに向かい、自信を積み重ねているのだと感じました。
また、本時に至るまでの教材研究や子供の見取り、深まりを生み出すための発問設計など、授業づくりに向けた準備が丁寧に行われていることも強く伝わってきました。こうした日々の積み重ねが、学校全体の授業力の向上につながっているのだと思います。
同じ完全複式校として、たくさんの学びをいただいた研究大会でした。ありがとうございました。
- ・授業を参観させていただき、小学生であのよう話し合いや学び合いができるに驚かされました。これまでのご指導の積み重ねがあってのことだと思いますが、毎年職員構成も変わるもので変わらずそれを継続されることに敬意を表します。
また、加藤先生のご講演では、「適度な不親切」という言葉が印象に残っています。現在の自分、そして自分の学校全体の指導を振り返る良い機会となりました。今回御校で学ばせていただいたことを活かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。
- ・今回のへき地複式教育研究大会に参加して、「全員が分かる」「全員で分かる」というテーマのもと、子どもたちが自分のペースで考える時間と、友達と関わって理解を深める時間が行き来していく、個別最適な学びと協働的な学びの往還がうまく生きていると感じました。また、授業の中心にはいつも子どもの姿があり、児童主体の授業づくりが自然に形になっていたことがとても印象的でした。今回得た気づきを、これから授業づくりに少しずつ生かしながら、子どもたちが「学ぶって楽しい」と思える時間を増やしていきたいと思います。